

平成23年11月17日
於
府中市立教育センター

平成23年第11回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成23年第11回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成23年11月17日(木)
午後1時35分
閉 会 平成23年11月17日(木)
午後2時38分
- 2 会議録署名員
委 員 齋 藤 裕 吉
委 員 糸 満 純一郎
- 3 出席委員
委員長 久 芳 美恵子 委員長職務代理者 崎 山 弘
委 員 北 島 章 雄 委 員 齋 藤 裕 吉
教育長 糸 満 純一郎
- 4 欠席委員
な し
- 5 出席説明員
教育部長 高 橋 脩 二 文化スポーツ部長 齋 田 文 雄
教育部次長兼総務課長 吉 野 寿 一 文化スポーツ部次長兼文化振興課長 後 藤 廣 史
教育部副参事兼指導室長 小 椋 孝 文化振興課長補佐 時 田 浩 一
総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹 月 岡 敏 浩 ふるさと文化財課長 英 太 郎
生涯学習スポーツ課長補佐 古 田 実
生涯学習推進担当副主幹 茂 木 孝 之
教育プラン21推進担当理事 田 中 陽 子 図書館長補佐 坪 井 茂 美
美術館副館長 山 村 仁 志
学務保健課長 中 村 孝 一
学務保健課長補佐 市 川 直 次
給食担当副主幹 須 恵 正 之
指導室長補佐 桑 田 浩
指導室副主幹 新 藤 純 也
統括指導主事 金 子 真 吾
指導主事 国 富 尊
指導主事 小野満 賢
指導主事 大 津 嘉 則
指導主事 山 本 勝 敏
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 田 中 啓 信
総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議 案

第27号議案

国司館と家康御殿整備活用検討懇談会委員について

第28号議案

不作為についての異議申立てに対する決定について

第29号議案

不作為についての異議申立てに対する決定について

第4 報告・連絡

- (1) 平成24年度社会教育施設の臨時休館日等について
- (2) 武蔵府中熊野神社古墳まつりの開催について
- (3) 企画展「石子順造の世界—美術発・マンガ経由・キッチン行」開催について

第5 その他

第6 教育委員報告

午後1時35分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成23年第11回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日の会議録署名員は、齋藤委員と糸満委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日、傍聴希望の方がいらっしゃいます。許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

では、よろしくお願ひいたします。

傍聴の方に申し上げます。本日の議案につきましては、資料に個人情報に記載されておりますので、第27号議案は該当する部分の記載を省略させていただき、第28・29号議案は資料を省略させていただいておりますので、ご承知おきください。

_____ ◇ _____

◎第27号議案 国司館と家康御殿整備活用検討懇談会委員について

○委員長（久芳美恵子君） 本日の第27号議案につきましては、審議対象となる懇談会委員候補者の中に、北島委員の親族の方がおられます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第5項によりますと、「教育委員会の委員は、…三親等以内の親族の一身上に関する事件又は…従事する業務に直接の利害関係のある事件については、その議事に参与することができない。」とされておりますので、この第27号議案につきましては、北島委員は、審議にご参加いただけないということでございます。

北島委員、大変恐縮ですが、第27号議案の審議中のみ、外でお待ちいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

（北島委員退室）

それでは議案の審議に入ります。第27号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○ふるさと文化財課長（英太郎君） それでは第27号議案、国司館と家康御殿整備活用検討懇談会委員につきまして、ご説明いたします。

本懇談会は、国司館と家康御殿整備活用検討懇談会設置要綱第1条の規定に基づき、国史跡武蔵国府跡御殿地地区の保存整備及び活用の検討に関し、広く市民の意見を聞くため、設置するものでございます。本懇談会につきましては、同要綱第3条に基づき、教育委員会が依頼するもので、学識経験のある者、並びに近隣自治会及び商店街関係者を基本に、公募委員を積極的に活用し、記載のとおり10名の委員候補者の皆様でございます。

なお、懇談会委員の任期は、同要綱第5条の規定により、教育委員会が依頼した日から平成24年3月31日までの期間でございます。

なお、全員の方が新任でございます。

そして、本懇談会は同要綱第2条の規定に基づき、意見を交換した結果につきましては、会議の提言をいただくことになっております。

以上、懇談会委員に関しまして説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。事務局の説明が終わりましたが、何かご質問ございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○委員（糸満純一郎君） 参考までに、この懇談会では、どういった内容のことをいつまでに検討し、その後はどうなるのか、今後のスケジュール等を教えていただければと思います。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでしょうか。よろしくお願いいたします。

○ふるさと文化財課長（英 太郎君） 本懇談会につきましては、本年度の3月31日まで、平成24年度の3月31日までの期間に、2回ほど開催をさせていただきまして、本町のこの国司館と家康御殿の整備活用の基本のご意見、地域からのご意見をいただき、その内容を取りまとめていくものでございます。

その後、来年度につきましては、この市民からのご意見をもとに、専門家を交えた検討協議会を開催する予定となっております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでございますでしょうか。よろしゅうございますか。

3月31日ですから、かなり短い期間でございますが、その間に2回、懇談会があつて、地域からの基本的な意見を伺うということでもございました。

ほかにいかがでしょうか。質問でなくても、ご意見でも結構でございますが、いかがでしょうか。はい、お願いします。

○委員（崎山 弘君） 今、2回ほど会議を行うということでしたけれども、市民の方から意見を伺うということですが、基本的には、たたき台があつて、それに対する意見を伺うものなのか、それともこの方たちにフリートークでお話をしていただいて、それに基づいて計画をつくるものなのか、そのどちらなのでしょう。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いします。

○ふるさと文化財課長（英 太郎君） 本委員会につきましては、国の史跡ということがございますので、国の史跡としての前提となる条件につきましてご説明させていただくとともに、たたき台的なものを含めてご提案しながら、それについてご意見をいただいくという形をとりたいと考えてございます。

○委員長（久芳美恵子君） フリートークというわけではなくて、ある程度の提案があつて、それに対するご意見を伺うということですね。

いかがでございますでしょうか。何かご質問。はい、お願いします。

○委員（齋藤裕吉君） 公募市民の方のお名前が何人か上がっておりますけれども、この選定基準というのでしょうか、候補者として、どのような観点でお決めになったのかなということ、教えていただければと思います。

○委員長（久芳美恵子君） 選定基準ということでございます。

○ふるさと文化財課長（英 太郎君） 本懇談会の委員さんにつきましては、公募市民の方の枠を設けまして、これにつきましては作文という形で応募をしていただきまして、その作文を

部内の検討委員会のほうで拝読させていただきまして、その内容が本題に即しているかどうかを吟味させていただき、選定させていただいたものでございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） 公募市民に関しては作文を提出いただいて、それを検討した結果ということでございます。

ほかにごございますでしょうか。ほかにご意見、ご質問がなければ、お諮りいたします。

第27号議案、国司館と家康御殿整備活用検討懇談会委員につきまして、決定することにご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（久芳美恵子君） 全員異議なしでございますので、原案どおり決定といたします。ありがとうございました。

次の議案より、北島委員にも審議に加わっていただきますので、よろしく願いいたします。

（北島委員入室）



◎第28号議案 不作為についての異議申立てに対する決定について

◎第29号議案 不作為についての異議申立てに対する決定について

○委員長（久芳美恵子君） それでは、第28号議案と第29号議案を一括して朗読していただきたいと思っております。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○教育部次長兼総務課長（吉野寿一君） それでは、ただいま一括議題となりました第28号議案及び第29号議案の、不作為についての異議申立てに対する決定につきまして、決定書（案）に基づきまして説明をいたします。

第28号議案及び第29号議案の2点に係る異議申立人は、平成22年12月3日付で自己情報開示請求決定処分に対して異議申立てを行っているので、今回はともに、その異議申立てに対する決定等において、府中市教育委員会に不作為があったと主張し、異議申立てをしたものでございます。

決定書（案）の第1、異議申立ての趣旨及び理由のほうをご覧いただきたいと存じます。申立人が不作為と主張するのは、一つには、こちらは第28号議案になりますが、前回の異議申立てに対する決定書を送付する際に、委員会が府中市個人情報保護審査会からの答申書の写しを送付しなかったことでございます。

もう1点でございますが、第29号議案になりますが、前回の異議申立ての審査に当たりまして、府中市個人情報の保護に関する条例第36条第1項にある、審査会が申立人の申出により口頭で意見を述べる機会を与える、または意見書もしくは資料の提出を認めることができること、並びに第37条第1項にある、審査会に提出された意見書または資料の閲覧または複写を求めることにつきまして、これらを委員会が申立人に告知しなかったことでございます。

次に、決定書（案）の第2、府中市教育委員会の認定事実及び判断の1でございますが、こちらにつきましては、第28号議案、第29号議案とも同内容となっておりますが、認定事実につきましては、説明のほうは省略させていただきます。

続きまして、決定書（案）の第2の2、判断でございますが、まず不作為の経緯についてご説明申しあげますと、行政不服審査法第2条第2項に、不作為とは、行政庁が法令に基づく申請に対し、相当の期間内に何らかの処分その他公権力の行使に当たる行為をすべきにもかかわらず、これをしないことを言うतございませう。申立人が不作為として主張した行為につきましては、いずれも何らかの申請に対しまして、何らかの処分等を行わなかつたということではございませので、ここで言う不作為には当たらず、異議申立て自体が行政不服審査法に不適法なものと判断することができるものでございませう。

以上のことから、決定書（案）の主文のとおり、これらの異議申立てにつきましては却下するものでございませう。

なお、異議申立てでは、府中市個人情報保護審査会に対しましては不作為があつたものと主張しておりますが、審査会は行政庁には当たりませので、これにつきましては不適法となるものでございませう。

以上でございませう。よろしくご審議のほどお願い申しあげませう。

○委員長（久芳美恵子君） それでは、事務局の説明が済みませたけれども、この第28号議案、第29号議案、ほぼ内容的には似たようなものでございませうけれども、いかがなものでございませうか。何か説明でまだ加えていただきたいところとか、詳しくお聞きしたいところなどのご質問、ございませうでしょうか。はい、お願いいたさせませう。

○委員（崎山 弘君） 私たちの医療の世界で、この行政上の不作為で有名なのは薬害エイズの裁判なわけですが、そのときは、薬の販売をとめることができたのにもかかわらずとめなかつたのは行政上の不作為で、公権力の行使というものをしなかつたであろうということが裁判の対象になつたわけだ。今の説明にありませうように、今回の申立人の言つてゐることは、公権力の行使に該当するような行為ではないと私も思つてゐるので、妥当な判断だと私は考えませう。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにご質問、ご意見いかがでございませうか。

2件とも、先ほどご説明にありませうように、行政不服審査法に定められた異議申立てではないということだので、申立てを却下するということだございませうが、よろしゅうございませうか。

それでは、お諮りいたさせませう。第28号議案、不作為についての異議申立てに対する決定について、及び第29号議案、不作為についての異議申立てに対する決定について、決定することにご異議ございませうでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（久芳美恵子君） 全員異議なしでございませうので、原案どおり決定いたさせませう。ありがとうございました。

それでは、議案はここまででございませう。

報告・連絡に参りたいと思つてゐませう。

◇
◎平成24年度社会教育施設の臨時休館日等について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡（1）につきまして、文化振興課、お願いいたさせませう。

○文化振興課長補佐（時田浩一君） それでは、資料1に基づきまして、社会教育施設の平成

24年度臨時休館日等についてご説明いたします。

まず、生涯学習センターは、定例の休館日は第1月曜日、第3水曜日、及びその翌日、木曜日でございますが、そのほかに資料に記載のとおり、9月22日、土曜日、2月11日、月曜日を臨時休館日といたします。

郷土の森博物館につきましては、毎週月曜日の定例の休館日のほかに、記載の臨時休館日を設けます。また、7月、8月の夏休み、2月、3月の梅まつりの時期に、記載のとおり臨時開館日を設けます。

次に、総合体育館及び地域体育館は、第1月曜日の定例休館日のほかに、記載の臨時休館日を設けます。朝日体育館は記載のとおりでございます。

次に、図書館でございますが、中央図書館、地区図書館11館、及び生涯学習センター図書館の休館日は記載のとおりでございます。例年の蔵書点検等のほか、11月にシステム入れかえのため臨時休館日を設けるものでございます。

最後に美術館でございますが、企画展の展示がえのため、記載のとおり臨時休館日を設けます。

以上でございます。よろしく願いをいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 社会教育施設の臨時休館日等につきましての提案でございます。いかがでございましょうか。何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。はい、お願いします。

○委員（北島章雄君） 中央図書館と地区図書館のシステムの更新ということで、11月21日から30日、約10日間ですか、大掛かりなシステムの変更が行われるのでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでしょう。

○図書館長補佐（坪井茂美君） 図書館におきましては、5年に1回、システムの更新について、契約の中で定めてございます。平成19年12月にオープンいたしまして、来年度がちょうどその5年目に当たります。今、内容について検討中ではございますが、ホームページを初め、より利用者の方に利用しやすいようなシステムに入れかえるために、全館、全面的な入れかえのために、これだけの日数をいただくものでございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） 5年に1度ということで、かなり大掛かりになるということでございました。

ほかにいかがでございましょうか。

一つ伺いいたします。朝日体育館が他の地域の体育館と休館日が大分違うようなのですが、これはどういった理由でございましょうか。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 朝日体育館と他の体育館の状況が違うというところのお尋ねでございますが、まず規模と運営の違いというところが大きなところでございます。朝日体育館は昭和47年に開設された体育館でございますが、利用状況はどちらかというと、地域利用者の貸し館的な利用が中心でございます。一方、他の体育館は、その10年ほど後に建てられた建物でございますが、面積も朝日体育館と比べて2倍以上の違いがございます。利用形態も、多岐にわたるスポーツ教室等の運営形態で行うなどの違いがございます。ですから、朝日体育館は利用者の比較的少ない時間帯を休館日として定めているというのが状況でござ

ざいます。これら管理形態が複雑でございますので、管理はシルバー人材センターさんから派遣していただいているという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） はい、わかりました。ありがとうございます。

ほかにかがでございましょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは、平成24年度社会教育施設の臨時休館日等につきまして了承いたします。よろしくお願いたします。



◎武蔵府中熊野神社古墳まつりの開催について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（2）でございます。ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長（英 太郎君） ふるさと文化財課より、武蔵府中熊野神社古墳まつりの開催について、資料に基づいてご説明申しあげます。

1の事業開催の趣旨でございますが、本市の文化財や歴史文化遺産の資源を活用して、歴史と文化のまちづくりにつなげていくことを目的とする武蔵府中ふるさとまつり2011の一環として、国史跡武蔵府中熊野神社古墳をテーマとする古墳まつりを開催いたします。

概要でございますが、日程は11月26日（土）午後5時から8時の間に前夜祭を、11月27日（日）午前10時30分から午後4時の間に古墳まつりをを行います。

会場は、西府町2の9の国史跡武蔵府中熊野神社古墳及び同古墳展示館、熊野神社境内でございます。

主催は、武蔵府中ふるさとまつり2011実行委員会と、武蔵府中熊野神社古墳保存会でございます。

主な行事は、前夜祭としまして、古墳の墳丘の南側に設置したステージで古墳コンサートを行います。演奏はジャズバンドなどがございます。

古墳まつりとして、古墳をテーマにしたパレードでは、古代の衣装を身に着けた人たちが古墳の周りをねり歩きます。この衣装を試着していただき、記念撮影をすることもできます。また、キャラクターの「くまじい」のぬりえコンクールとアクセサリー作りでは、展示とストラップづくりを楽しんでいただくことができます。また、展示するぬりえは、地元小学校の第五小学校及び本宿小学校の1年生に協力していただいた作品でございます。

古墳コンサートパート2では、本宿小学校合唱団の皆さんに出演していただくことも予定しております。

また、土器とかまどを使った古代米炊飯体験では、古墳時代の土器の複製と復元したかまどを使いまして、古代とまったく同じ条件で古代米の炊飯実験を行います。

そのほか、武蔵府中熊野神社古墳保存会PRや、関係団体の皆さんによる、各種の飲食ができる模擬店等も出ますので、熊野神社古墳を一日楽しみながら学べる趣向となっております。ぜひ市内の学校の先生方や児童・生徒の多くの皆さんにご来場いただきたいと思いますと考えております。休日ではございますが、委員さんにおかれましては、お時間とご都合が許されるようございましたら、ぜひ開催中にご来場いただきたく、ご案内申しあげます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。ご説明いただきました古墳まつりでございますが、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。はい、お願いします。

○委員（崎山 弘君） この古墳まつりの「まつり」が平仮名というのもおもしろいなと思うのですが、場所が神社だけに、神社で祭りという、何か誤解を受けるような雰囲気もあると思うのです。やっぱり神様があっておまつりするような場所でお祭りをを行うという、何か氏子さんたちが絡む祭りとなるような気がするのですが、今回は祭事ということではなくて、ジャズフェスティバルみたいな、そういうお祭りという意味なのですね、この「まつり」は。

○ふるさと文化財課長（英 太郎君） あくまでイベントという形のおまつりでございまして、古墳について学んでいただけるというようなことを考えてございます。なお、ポスターを作製いたしまして、ちょっとご披露いたします。このような形のポスターをつくりまして、神社の祭りとは違うという形でPRをさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

ほかにいかがでございましょうか。はい、お願いします。

○委員（齋藤裕吉君） コンサートのジャズバンドというのも、非常におもしろいというか、なぜ古墳にジャズかという、そういう何か意図があれば聞かせてもらえればと思うのですが、そんなにこだわらないのですけれどもね。

それから、小学生、中学生等、子どもたちのかかわりという点で、数年前から子どもたちはかかわってきましたので、この日もかかわるといのは、ぬりえとパート2のコンサート、この二つなのですか。ほかにまだあるのでしょうか。お願いします。

○委員長（久芳美恵子君） 子どもたちのかかわりについてでございます。

○ふるさと文化財課長（英 太郎君） 子どもたちとのかかわりという点では、このぬりえを第五小学校と本宿小学校の児童につくっていただくということと、コンサートにつきまして、本宿小学校の合唱団に歌っていただくということで、この二つが大きな出演展示関係のことでございます。そのほかに、このキャラクターづくり、またパレード、そして記念写真コーナーなどに子どもたちに参加していただける楽しい趣向がいっぱい用意してございます。また、古代米の炊飯などにつきましても、実験とともに試食なども楽しんでいただけるように考えてございます。

また、ジャズでございますが、本年はジャズということでバンドに出演していただくということができましたので、ジャズということでございますが、去年は民俗音楽なども含めた形で考えてございまして、毎年、若干趣向を変えながらコンサートを行っております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） よろしゅうございますか。

ほかにいかがでしょうか。はい、お願いします。

○委員（北島章雄君） 熊野神社古墳のあるところは20号線に面しておりまして、その交通量が非常に多いので、あそこの信号を渡るところに警備というか、お子さんが集まることになっていると思うのですが、その警備状況とか、そういうものは確保されておるのでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでしょう。

○ふるさと文化財課長（英 太郎君） 地元のほうで保存会という団体がございまして、この主催団体でもあるのですが、この保存会の中で警備、また準備等、取り組んでおります。保存会の会員の方々の中には、例えば安協さんにいらっしゃる方もいらっしゃいますし、安全上につきましても準備して、安全に会場を確保していきたいと考えてございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） よろしく願いいたします。

ほかにはいかがでしょうか。

では、私のほうからちょっと1点なのですが、以前、展示館がオープンしたときにもお邪魔したのですが、そのときに展示館の一番奥のところ、古墳の再生のところがまだ完成していませんかったと思うのですが、今回はいかがでございましょうか。

○ふるさと文化財課長（英 太郎君） 古墳の石室でございまして、石室につきましては、まだ工事中でございまして、これが1月末ぐらいの完成を目指しております、2月ごろから公開できる見込みでございまして、現在まだ工事中でございまして。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました、ありがとうございます。

ほかにはいかがでございましょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは、武蔵府中熊野神社古墳まつりの開催につきまして了承いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



◎企画展「石子順造的世界—美術発・マンガ経由・キッチュ行」開催について

○委員長（久芳美恵子君） それでは、報告・連絡（3）でございまして。美術館、お願いいたします。

○美術館副館長（山村仁志君） それでは美術館から、次回の企画展について報告します。

12月10日から平成24年、来年2月26日まで、「石子順造的世界—美術発・マンガ経由・キッチュ行」を開催いたします。1960、70年代に活躍した美術評論家の石子順造が収集した美術、マンガ、そして大衆的デザインの数々を、130件、約500点の展示でご紹介いたします。

お手元のチラシをお開きください。第Ⅰ部、美術—〈表現の近代〉を撃つ！では、石子が評価した現代美術作家、赤瀬川原平、池田龍雄、高松次郎などの作品を展示いたします。

第Ⅱ部、マンガ—「青い目」を開く作家たちでは、彼がマンガ評論で取り上げたつげ義春、白土三平、水木しげる、林静一らのマンガの原画などを紹介いたします。

第Ⅲ部、キッチュ—匿名表現の彼方へでは、造花、人形、置物、看板、ポスターなど、いわゆるキッチュ、通俗物と訳すこともあります。といわれる大衆的デザインを飾り、固定観念にとらわれない自由な意識の先駆者石子順造の美意識を再現いたします。石子という一人の評論家の目を通して、60年代、70年代という時代の日本の視覚文化を広く改めて見直すという展覧会です。

また、チラシの裏面をご覧ください。1階の公開制作室では、公開制作「横尾忠則」を開催いたします。横尾忠則のポスターが展示されます。マスコミなどでもおなじみの横尾忠則氏が府中市美術館に来館し、12月20日、22日、23日には市民ギャラリーで、また、そのほ

かの日には公開制作室で制作していただきます。

以上で美術館の報告を終わります。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。今、ご説明がありました。内容につきましてのご質問、ご意見がございましたら、どうぞ。いかがでございましょうか。かなり刺激的な内容ということになりますね。

横尾忠則さんがおいでになるときなどは、きっといらっしゃる方がとても多くなるのではないのかなと思います。

はい、お願いします。

○委員(崎山 弘君) このチラシを開いて右側の映画のところの説明のところの18歳未満のご入場はご遠慮くださいという注釈があるわけですが、これはその映画の内容を見て考慮したのか、それとも、もともとこれが上映されているとき、初めから18歳未満はお断り願っていたのか、その辺はどうなのですか。

○美術館副館長(山村仁志君) この映画の中の一部の、「天地創造説」だと思いますが、その中でR18という指定を受けていると。内容的には、いわゆるアングラ映画なので、一部で暗黒舞踏という舞踏の表現があって、その中で局部というか、そういうところがあるところがあるので、R18になっているということで、いかがわしいというものではありません。ということで、アンダーグラウンド映画ですので、ちょっと一部、暴力的なシーンとか、そういう狂騒的といいますか、そういうシーンがありますので、全体に高校生以下よりも以上のほうがいだろうということで、そのような表現にいたしました。

以上です。

○委員長(久芳美恵子君) よろしいですか。

○委員(崎山 弘君) その判断自体は構わないと思うのですが、ということは、当日そこでやはり、「これはちょっとお断りです。」みたいな形で係が立つことになるのでしょうか。

○美術館副館長(山村仁志君) 張り紙を出しまして、受け付けのところでそのように、暴力的なシーンが含まれておりますので、ご判断くださいという形で制限したいと思います。

○委員長(久芳美恵子君) よろしく願いいたします。

なかなかこう、何て言うのでしょうか、副題がおもしろいですよね。「美術発・マンガ経由・キッチン行」というのは、なかなかこう、普通には考えられないようなタイトルだと思うのですが、ちょっとこの際ですから、こういう副題のようなものをどなたが考えられるのか、ちょっとお聞かせください。

○美術館副館長(山村仁志君) この展覧会自体は学芸員の一番若い30代の学芸員が考えていまして、現代の美術そのものが、デザインとか建築とか、それからこういうマンガ、あるいは大衆的なものと現代の美術というものが、今、時代の変り目でも再検討されているような時代なので、視覚的な表現全体を見渡すような意味で、もともと美術は高級芸術、マンガはどちらかといえば低いと見られた価値観を問い直すという意味で、その若い学芸員が意欲的につけた副題です。

以上です。

○委員長(久芳美恵子君) わかりました。ありがとうございます。マンガもアニメも日本の文化として、もう世界に冠たるものがあると思うのですが、やはり企画の中心となる方が、大

体こういう題を提案なさって、皆さんでもむのでしょうけれども、ということですね。個人的なことを言えば、なかなか私の中には入ってきていないものなので、こういう機会にぜひ見せていただいて、新しいところへもチャレンジしたいと思っております。横尾さんであるとか、あとトークイベントのところで人類学者の中沢新一さんもお見えになるということですので、大変意欲的な企画であるなど個人的には思います。

皆さん、ほかにいかがでございましょうか。ご質問、ご意見等ございましたら。

ないようでございますので、企画展「石子順造の世界—美術発・マンガ経由・キッチン行」の開催につきまして了承いたします。どうぞよろしく願いいたします。

その他でございますが、その他でございますでしょうか。

ございませんようですので、教育委員の報告に移ります。



◎教育委員報告

○委員長（久芳美恵子君） 教育委員報告をお願いいたします。

○委員（北島章雄君） 北島よりご報告させていただきます。

10月21日、給食展・大試食会、給食センターへ参りました。天候の悪い中、大勢の方々が参加され、おいしい給食を試食しておりました。

10月23日、第六小学校の運動会へ行きました。22日の雨天の中止のための23日です。前日はすごい雨だったのですけれども、朝6時ごろ、保護者、おやじの会、PTAの方々が校庭を整備し、運動会ができたということをおっしゃっておりました。とてもすばらしい運動会でした。

10月28日、矢崎小学校の40周年式典へ出席いたしました。多くの方々が出席され、盛大に行われました。その中で、児童の言葉がとてもすばらしく、感動しました。また、記念合唱、合奏、そして和太鼓。和太鼓はやはり音が大きくて、体育館の中でやられたのですけれども、その音が体に伝わってくるようでした。とてもよかったです。

11月3日、第5回府中市小学生タグラグビー大会フォーリスカップを見学いたしました。

11月4日、第二小学校の研究発表会、そして11月11日、第三小学校の研究発表会に行っていました。それぞれ教室は授業に合わせて机の配置等、工夫して行われ、また各教室は、先生、児童が授業に集中し、進んで発表をしていました。研究の成果があらわれていたと思います。それぞれの学校のPTAの役員、また保護者の方々が協力してくださり、研究発表会がスムーズに行われておりました。

11月5日、平成23年度府中の教育を語る会、生涯学習センターでございました。「いざという、そのときに必要な『力』を育むには—防災教育のあり方を考える—」というテーマでパネルディスカッションが行われました。東京消防庁第一消防方面本部の小野さんと、それから第六小学校の菊井校長先生、そして児童2名、第八中学校の森岡校長先生と、それから生徒2名、あとP連の坂本会長がパネラーになり、ディスカッションしておりました。3月11日に起きたことの各生徒の体験談、そして先生方の対応等お話しされ、いざというときの教育がいかに大切かということをおっしゃっておりました。資料の中に、感想、ご意見等という形で、いろいろなご意見がありましたけれども、この中にも書いてありましたとおり、多くの方々に参加し、来ていただければと、本当に切に思った次第です。

11月6日、第54回府中市民体育大会秋季大会の閉会式に参加いたしました。

11月10日、教育委員会訪問で朝日町体育施設、平成25年の国民体育大会でサッカーの試合会場になる会場を見学してまいりました。

次に、第八小学校に参りました。亀山校長先生より説明を受け、第八小学校の置かれている地域性ですか、古くからお住まいの方、新しく府中に来られた方の両方がおられますが、その両方の力を活かして取り組んでいるという感じを受けた次第です。また、学校のプールが手づくりで、水深がちょっと深いということで、低学年の児童が入りづらいと。ほかに小児用のプールがあるのだけれども、児童数が多いために一どきに入れないというお話をされておりました。また、おいしい給食をいただきました。

その後に小柳幼稚園に訪問したわけです。園庭が広くて、みどり幼稚園、矢崎幼稚園よりも広く感じて、また、自然に恵まれていて、多摩川の土手で土手滑りというものをやられるそうです。とても自然に恵まれたよい幼稚園だなと感じた次第です。

以上です。

○委員(崎山 弘君) では、崎山から報告いたします。

前回の教育委員会定例会以降は、10月27日、私が校医をやっている武蔵台小学校の就学時健診、あと28日、矢崎小学校の40周年記念行事、11月2日は第一小学校の研究発表会、11月3日は府中市小学生タグラグビー大会、10日、教育委員会訪問、11日、第三小学校の研究発表会にそれぞれ参加いたしました。

この時期、研究発表会がまたこれから1月に向けてかなり数多く行われるわけですが、数が行われるわけなので、どうしても各市内の学校の先生方、なかなか全部に参加することができないので、どうしても参加者が少ないというのが、ちょっと気になるのかなとは思っています。ただ、やはり、私も何回も研究発表会を拝見させていただいているのですけれども、やはり先生方から見ると、第三者が授業を見に来るとということが非常に刺激的なことだと思うし、やはりその研究発表をすること以上に、教育の質を上げることに意味があるのではないかなと私は考えています。ですから、せっかくああいう形で発表して下さっているの、私は今回、あえて一つの教室だけをしっかり見るということをやってみました。どうしても我々教育委員が行くと、各教室に2〜3分で移動してしまうようなことをしてしまうので、それもちょっと失礼かなと思ったので、今回はある1校で全部、50分見てきました。そうすると、やはりあらかじめ配られたストーリー、その授業の構成、今回この單元では10回の授業で、きょうは4回目です。これはどういう部分からこういうことを引き出して、生徒たちのこういう反応を引き出してということが計画どおり、書かれているわけですが、見事にそのとおりやられておりました。やはりそういう発表の機会をつくって、それを我々が見に行くと、そのとおりやっていることを確認できて、それで学校の先生方も質が上がってくるということ自体に非常に意味があるだろうと考えておりますので、ぜひこの研究発表会はこれからも進めてもらいたいと思います。ただ、一つの考え方として、ある年はどこか1校だけ、そこに集中してみんなが見るみたいなやり方があってもいいのかなと、個人的には思いました。そういうやり方をとることも一つ方法としておもしろいのではないかと、毎回、数が多いところで感じるそうです。

あと、第5回府中小学生タグラグビー大会も、今年第5回目となりますので、だんだんみんな

な上手になっているなど感じました。前はやっぱりボールにごちゃごちゃと集まってしまっていたようなところが、最近はやはりちゃんと作戦があつて、ちゃんととまって後ろを振り向いてパスをするというところが、かなりの学校でできるようになっておりまして、熱戦が繰り広げられるのをおもしろく拝見してまいりました。

以上です。

○委員(糸満純一郎君) それでは、糸満から報告をさせていただきます。

10月22日でございますが、大雨が降った日でございますが、午前中にPTA連合会の親子映画会ということで、「わさお」という犬の映画がございまして、私は映画までは見るのができなかったのですが、大変感動的な映画だったということを後で聞いております。大雨にもかかわらず満席だったということで、教育委員会としてのごあいさつを申しあげました。

その日のお昼前に、給食展に参加をさせていただきまして、私もおいしく給食を食べさせていただきました。

10月25日、東京都の中学校校長会の多摩地区Cブロックになるそうですが、多摩地区の研究発表会で人権教育の発表がございまして、第一小学校の小島校長が発表者になっておりまして、中央文化センターに行って、地元教育委員会としてのごあいさつをしてまいりました。

10月28日は、私も矢崎小学校の40周年に参加をいたしました。

10月30日、MOA美術館の子どもの絵画展ということで、府中の子どもたち、多数表彰されまして、そのときにも参加をさせていただきまして、ごあいさつをしてまいりました。

11月2日、第一小学校の研究発表会ということで、そのときにはJAXAの方が見えて、H-II Bロケットのお話をさせていただきまして、大変興味深く拝聴させていただきました。

11月3日は、今もお話がありましたフォーリスカップ、タグラグビー大会がございまして、当日、福島からも小学校が1校、参加をしたということで、いい交流になったのではないかなと感じております。

11月4日、第二小学校の研究発表会に行きまして、このときも、偶然かと思うのですが、JAXAの、このときははやぶさの回収班ということで、そのお話がすごく感動的でした。たまたま10月19日の新町小学校のときは三鷹の天文台の方が見えて、宇宙全体の総合的なお話があつて、第一小学校がロケットの話で、第二小学校がはやぶさの話ということで、宇宙の三部作のような形で三つとも聞けたので、よかったなと思いました。

それから11月5日、府中の教育を語る会で防災教育について、本当に子どもたちも熱心にパネルディスカッションに参加していただいて、いい催しだったなと感じました。

それから11月10日は教育委員会訪問で、朝日グラウンドも行ってきたのですが、今度の国体に合わせてグラウンドもきちんと整備をし直すということで、よかったなと。今までちょっと中途半端な部分があつたようにも感じておりましたので、この際、きれいに整備していただくということで、本当によかったなと感じました。

11月11日は、午前中に全日本中学校技術・家庭科研究大会の第1分科会が府中第三中学校で開催されまして、地元教育委員会として歓迎のごあいさつをしてまいりました。

同じ11日に、第三小学校の研究発表会がございました。このときの講演は、立松和平さんの義理のお兄さんに当たるという漆原先生が、児童文学のお話でしたけれども、本当に感動的なお話を聞かせていただいて、よかったなと感じた次第でございます。

以上です。

○委員(齋藤裕吉君) それでは、齋藤のほうから報告をさせていただきます。各委員の皆さん方のご報告と重なる内容が多いかと思いますが、私なりの感想などを含めて報告させていただきます。

まず10月28日ですけれども、矢崎小学校の創立40周年の記念式典ということで、比較的、簡素な中にも、とても厳粛な雰囲気のある式典だったなと思っております。そしてまた、子どもたちがとてもよく指導されていて、とても立派な態度でこの式典の雰囲気をつくっていたなと思います。それから保護者とかPTAの皆様方の協力ぶりですね、これがとてもよく見えておりました。そして校長を初め職員の皆様方のピリッとした緊張感が伝わってきて、とてもよい式典であったと思っております。

それから11月2日でございますが、やはり府中第一小学校の研究発表会ということですね。これは前回の新町小学校の理科・生活科に続いて、やはり理科・生活科ということでございます。府中一小は2〜3年ごとに毎回、研究発表をしていらっしやいまして、今回も前回までの国語の指導法の研究を土台にして、理科分野での取組、それぞれ意欲的な発表だったと思っております。講演はJAXAの白石さんという方、女性の先生のお話も大変わかりやすく、夢の持てる話だったと思います。テーマが、理科が好きな子どもが日本の未来を支えるということだったのですけれども、まさにそのとおりではないのかなと思いつつお話を伺いました。最近、小学校教員、教員の養成課程から眺めておられますと、理数系の勉強をあまりしていないで入学、卒業していくという傾向があるかなということを感じております。やはり小学校の教員がまず理数好きにならないといけないのではないかなということをお考えながら、この発表を見せていただきました。

それから、私も同じく、せつかくの発表なので、参加者がもっと多くていいのではないかなという思いをこの日も持ちました。各学校とも本当に忙しくて、さまざまな事情があるということは、私自身、よくわかっているつもりなのですが、校長会等の領域になると思いつつも、各小・中学校、例えば3〜4人ぐらいいは出そうということで参加していただくだけでも、発表会の参加者が倍以上になるわけですし、研究成果が市内に広めやすくなると思います。今後、校長会の先生方とも話し合っていきたいなと思っております。

それから11月4日、府中第二小学校の研究発表会、やはり理科・生活科の発表でございます。直接体験を重視して、学び合いを取り入れた学習活動を展開することで、自信を持ってチャレンジする子どもを育成することができる、こういう研究仮説で、直接体験の重視ということと学び合い活動の重視という二つの柱を立てての研究実践だったわけですが、心理学の知見も生かしたような、そんな内容になっていたなと思っておりました。他校にも生かせる、そういう成果を含んだものになっていたと思います。講演の部では、先ほど来、お話のとおり、はやぶさのプロジェクトのお話、非常に感動的でした。

それから11月5日、府中の教育を語る会ということですね。これは防災教育のあり方を考えるということでのパネルディスカッションだったわけです。小学生、中学生の代表の子どもたちが自分たちの率直な思いを上手に語ってくれたなと思っております。特に、今回の東日本大震災の一つの教訓でもあると思うのですが、特に中学生ですね、中学生は、ただ自分が守ってもらって存在ではなくして、中学生自身が地域の防災の担い手になっていくべきである

うという、そのような指摘が、これはとても大事だなと私も思いながら聞いておりました。そういう視点で、小学校もそうですけれども、特に中学校、防災教育を見直すということも必要なのかなと、この話し合いを聞きながら思ったところでございます。また、今回の討論は、災害が発生した直後の対応についての議論だったわけですが、実は災害発生後が結構大変という部分があると思うのですね、自然災害の場合はですね。災害発生後、1週間ぐらいまでを想定した議論とか防災計画というものも、学校段階でも必要になるのかなと思ひながら聞かせていただきました。なお、事務局の指導主事さん方、非常にてきぱきとした司会進行で、とてもよかったです。

それから11月16日、府中市民体育大会秋季大会閉会式、これにも参加をさせていただきました。中学校の先生方、いろいろなところで顔を合わせまして、休みなのにご苦労さんだなと私も思いながら顔を合わせているわけですが、参加をしていた中学生の生徒たちが、自分の学校の校長先生を見つけると、にこにこして手を振ったり反応してくれるという様子が見られまして、ああ、やっぱり校長という立場の先生方にこういうところに来ていただくということは、とても意味があるのだなということを思いながら、そういう風景を見せていただいた次第でございます。

それから11月11日、府中第三小学校の研究発表会ですね。府中第三小学校の場合は国語の文学教材を扱った研究発表でございました。これまでの指導の積み上げが大変よくあらわれた、授業の場面に具体的にあらわれた、そのような発表だったと思います。研究発表の後、漆原さんという児童文学作家の先生のお話も、感性ということを取り上げたすばらしいお話であったと思います。

私は以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） それでは、久芳より4点につきまして報告いたします。

10月22日の給食の大試食会でございますが、先ほど北島委員のご報告にありましたように、午前中は雨天でございました。でも、雨天にもかかわらず、大勢の方がおいででございました。ぐるっと会場を回ったのですが、業者が幾つか出店していらっしゃるけれども、行列ができて、これはちょっと買えないなというような長い行列ができて人気のお店がございました。あと、第二給食センターでかるた取りですね。給食の題材をかるたにしたものかるた取りなどでは、子どもたちが歓声を上げて非常に楽しそうにやっているところを拝見しました。クイズラリーの答え合わせなどもそこでしていたようで、子どもたちは雨って関係ないのだなというふうに、すごく楽しんでいる様子が伺えました。私は和食の黒米のご飯の給食をいただきました。

11月2日でございます。終日、東京都市町村女性教育委員の研修会が東大和市で行われまして、私は教育委員になって2回目ぐらい、毎年行われているようですが、なかなか日程が合わなくて行かれませんが、今年はたまたまここに出席させていただきました。いろいろ情報交換での検討課題につきまして、直前に事務局の方々にご準備をお願いして対応していただきましたこと、大変ありがとうございました。東大和市では、東京の水がめである多摩湖とか狭山湖の成り立ちについて詳しい説明をいただきまして、その後、博物館を見学したり、さらには多摩湖まで足を伸ばして、その様子を拝見いたしました。湖畔にあります菊水亭というところで午後のお茶をいただいて、4時ごろに閉会となった催しでございました。

そして11月5日の土曜日の午後、府中の教育を語る会に参加いたしまして、教育委員会としてあいさつをさせていただきました。何人かの委員からご報告がありましたとおりでございますが、私その語る会でとても印象に残っているのは、自助、共助、公助があるということと、もう一つは、幼児から発達段階に応じて防災行動力というものがあるのだということをお話しいただいて、先ほど齋藤委員のほうからは、中学生が地域防災の担い手になるというようなお話がありましたが、それ以前の幼児が自分の身を守ることができるかどうか。小学生は初期消火や応急手当、中学生は地域防災の担い手になると。高校生は防火、防災において社会に貢献するという。大学生ぐらいになると、もう災害時にボランティア活動とか社会に貢献する役割を担うというような、発達段階に応じてこういった目標があるということを示していただいたので、先生方にも、今後、子どもたちの防災についてどのようなことを指導していったらいいかという大きな目標になるのかなと感じました。

そして11月6日です。日曜日に第54回の市民体育大会秋季大会の閉会式に参加いたしました。1カ月余にわたる大会の締めくくりでございますが、閉会式に参加された方々というのは、各競技で1位、2位、3位等々の入賞をした方々だったせいもあるのでしょうか、非常に晴れ晴れとした表情をしておられたことが印象に残りました。

以上でございます。

それでは、これにて平成23年第11回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。



午後2時38分閉会